

《各学年の特徴》

- 3年 身近な地域や市の様子について、人々の生活と関連付けながら理解し、必要な情報を調べることができる。
- 4年 東京都の様子について、人々の生活との関連を踏まえて理解し、必要な情報を調べ、協働的にまとめることができる。
- 5年 日本の国土や産業を支える人々について、自分たちの生活と照らし合わせて考え、地域による生活の違いに気付くことができる。
- 6年 主体的に学習をすすめ、歴史や政治、国際などの社会的事象について正しく理解するとともに、獲得した知識を他者と交流したり、説明したりすることができる。

《全国学力調査から見られる指導の重点》

- ・複数の資料から、必要な情報を選んで正しく読み取る。
- ・東京都の区市町村名や、それらの場所を理解する。

育てたい力（課題）

- 3年 身近な地域や市の様子について、問いをもち、調べたことと人々の生活を関連付けて考えたことを表現する力
- 4年 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力。社会に見られる課題を把握して、考えたことや選択・判断したことを表現する力
- 5年 日本の国土や産業の特色について、地図帳や地球儀、統計資料などの各種資料を通して、適切に調べ、考えたことを表現する力
- 6年 資料から読み取った事実から、自分が考えたことを表現する力、説明する力、議論する力

☆授業改善の具体策☆

- ・地図の活用 ・資料集の活用 ・統計資料の活用 ・ICT 機器の活用
- ・地域教材の活用 ・地域人材の活用 ・思考ツールを活用したノート指導
- ・対話、話し合いの場の設定 ・思考、判断、表現する場の設定 ・メディアを活用した時事的話題の関連化 ・ホワイトボードの活用

《知識及び技能》

《思考力・判断力・表現力等》

《学びに向かう力》

- 3年 地理的特色を理解するために、市内を実際に歩くフィールドワークを行う。また、資料活用能力育成のために、地図の活用や資料提示の方法を工夫する。
- 4年 東京都の様子について具体的な知識の定着を図るために、社会科見学などの調査活動を設定したり、具体的な資料を提示したりする。
- 5年 国土や産業の特色についての基礎的な知識の定着を図るために、地図や資料集、統計資料を活用する。
- 6年 我が国の政治や歴史、国際関係への理解を深めるために、地図や資料集、統計資料を活用する。

- 3年 小金井市の特色について考える力を養うために、思考ツールを活用し、自分の考えと友達の考えを比較、整理し、必要な情報をまとめる。
- 4年 東京都の特色や相互の関連、意味について考える力を養うために、年表や思考ツールなどで必要な情報をまとめ、交流する。
- 5年 社会的事象の特色や相互の関連を多角的に考える力を養うために、資料を選択し、必要な情報をまとめたり、比較・関連・統合したりする活動を行う。
- 6年 社会的事象の特色や相互の関連を多角的に考える力を養うために、調べた事実を図表などにまとめたり、根拠を明確にして議論したりする活動を行う。

- 3年 地域社会への愛着を育むために、地域人材を活用したり、具体物や体験を取り入れたりする。
- 4年 地域社会への愛着を育むために、地域教材を活用し、地域に関心をもたせたり、地域の課題を考えさせたりする活動を行う。
- 5年 社会的事象に対する興味・関心を高めるために、産業に関わる人々の思いについて、調べ考える活動を行う。
- 6年 社会的事象について、主体的に問いを追究するために、学習計画を立てたり、学習を振り返ったりする活動を行う。